

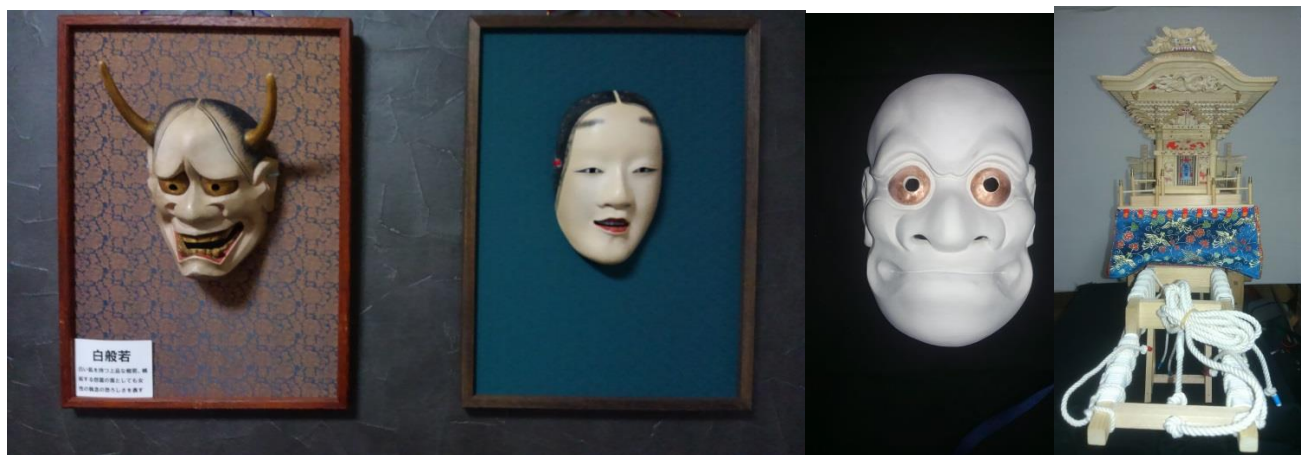
定年退職をぼちぼち意識する55歳ぐらいから、何か家で出来る趣味はと考え始めていました。なかなか始める勇気が湧かなく1年、2年と経ったある日、大阪市のミニコミ誌にOCATカルチャーサロン「能面クラブ」の受講生募集の記事がありました。なんとなくやってみようかなあ駄目でもいいや！と軽い気持ちで応募したのが、能面打ちの始まりでした。早いもの今年で15年目になりました。

1年目は小面からの制作でした。面打ちは完成までにはいくつかの工程があります。材料は木曾檜で荒どりから仕上げ、ヤニ抜き、裏面の漆塗り、表面の下塗り、上塗り、彩色までです。今では小面、般若、小牛尉、鼻瘤悪尉など約70面ほど制作しました。なかなか満足するものはできませんが作品が出来上がってくるのも楽しいものです。現在、制作中の面は長霊べしみの下塗りまでできています。

2年ほど前から阪南市東鳥取公民館でミニやぐら講習会に週2回土曜日に参加して、8分の1モデルのやぐらを制作しています。今年中には完成を目指していますが彫刻に悪戦苦闘中です。



獅子口



白般若

神功皇后

長霊べしみ下塗り

ミニやぐら